

入札説明書(令和7年度大気拡散モデルの計算システム整備業務)
に対する質問回答書

国立研究開発法人国立環境研究所
(閲覧期間: 令和7年9月16日～10月7日)

質 問 回 答 書

件名： 令和7年度大気拡散モデルの計算システム整備業務

番号	質問対象書類	質問対象項目	質問内容	回答内容
1	仕様書	4 目的	「マイクロスケールからメソスケールにわたる大気拡散予測シミュレーション」とありますが、それぞれについて典型的な時間・空間スケールを教えてください。	メソスケールモデルは1kmメッシュ以上、マイクロスケールモデルは数百mメッシュ以下を想定しております。
2	仕様書	5 業務内容	「マイクロスケールの大気拡散モデルをNIES担当者と協議して2本選別する」とありますが、この大気拡散モデルはオープンソース（OSS）のモデルですか。また、OSS の場合、請負者側から提案することも可能でしょうか？	ADMS 6（CERC社）とCALPUFF（Lakes Software社）の2モデルを予定しています。ソフトウェアのライセンス料についても見積に加えてください。
3	質問2に関連		メソスケールに関して言及がありませんが、メソスケールを扱うモデル（例えば、WRF-Chem のような気象・化学モデル）も使用するのでしょうか？	本業務ではマイクロスケールの大気拡散のみを対象としております。ただ、気象場はWRFで計算していただきます。
4			大気拡散モデルがマイクロスケールとメソスケールで別のモデルを用いる場合は、両者のモデルをオフラインで連成するのか、それともオンラインでしょうか？	今回は、マイクロスケールの大気拡散モデルを利用して、点源からの放出を計算していただきます。メソスケールの大気拡散モデルの計算は必要ありません。
5	仕様書	5 業務内容(2)	「大気拡散モデルの計算機システム整備」とは計算機システムに大気拡散モデルをインストールして、テスト計算が可能な環境を構築することを指しますか？	はい、その通りです。請負者の計算機にシステムを整備していただき、準備して頂いた手順書を基にNIES担当者がNIESの計算機システムにインストールする予定です。なお、NIES分のソフトウェアのライセンス料は本業務の予算外です。